



「令和6年能登半島地震」発生！

「首都直下地震」の発生も予想されています

地震に対する10の備え

この機会に確認しましょう！

詳しくは
こちらの
QRコードへ



→身の安全の備え

- ① 家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう



- ② けがの防止対策をしておこう



- ③ 家屋や塀の強度を確認しておこう

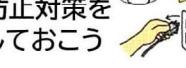


→初動対応の備え

- ④ 消火の備えをしておこう



- ⑤ 火災の発生の早期発見と防止対策をしておこう



→確かな行動の備え

- ⑦ 家族で話し合っておこう



- ⑧ 地域の危険性を把握しておこう



- ⑨ 防災知識を身につけておこう



QRコード



詳しくは
こちらの
QRコードへ

詳しくは
こちらの
QRコードへ

家具転倒対策

今こそやろう！！

一、ケガを防ぐため

転倒・落下・移動した家具類がぶつかり、負傷する原因となります。

一、避難の妨げをなくすため

部屋の出入口付近に家具類を置くと、転倒したり移動した家具類が出入口を塞いで避難が困難になります。

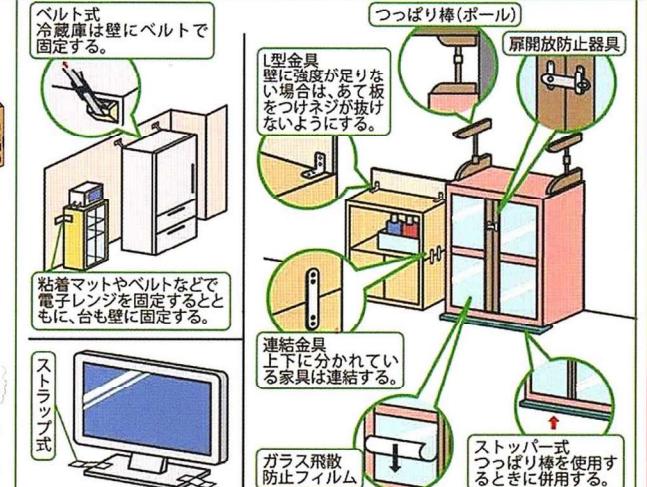
一、火災の原因をなくすため

ストーブや電灯等の高い熱を発する電気器具に物が落し下し、スイッチが入ったり、電気器具が倒れて布団等に接触して火災になることがあります。

既に対策済みの方も再確認を！

どうして
必要な？

家具類の転倒・落下・移動防止対策の例



※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

初期消火訓練

一、自分たちで守るため

大地震時には、消防隊が到着できない可能性があります。小さな火のうちに、みんなで消火できれば、延焼拡大を防ぎ、被害を最小限にできます。

一、消火器とスタンドパイプを使えるようにするため

消火器とスタンドパイプはみんなのための大きな武器です。まずは、基本的な操作方法を訓練し、初期消火要領を身に付けておきましょう。

一、地域の団結力と防災行動力を高めるため

次のステップは、みなさんが実際に住んでいる地域で火災が起こったことを想定して行う、発災型の『まちかど防災訓練』です。実戦的な訓練で、地域の団結を深めて、防災行動力を向上させましょう！



令和5年（1月1日～12月31日）の状況（町田消防署管内）



火災件数	傷者	死者	焼損床面積	建物火災件数
143 件 (+13)	16 名 (-8)	5 名 (+1)	1,187 m ² (-550)	75 件 (-18)

※ () は、昨年同時期比

その他
23件

たばこ
6件
放火
8件
ガス器具
15件

電気設備
23件

75件
15件

建物火災
出火原因

15件

救急状況	出場件数	救護人員
	23,398件 (+1,383)	19,294名 (+1,405)

※ () は、昨年同時期比